すっつ湾お宝勉強会ニュースレター

No.3
発　行：すっつ湾お宝勉強会　　お問合せ：寿都町教育委員会
TEL:0136-62-2100
2021.04.07発行

当ニュースレターは、「すっつ湾お宝勉強会」の活動報告です。

寿都弁グループ　第１号

寿都弁ってなんだろう？

日頃使っていることばに一寸注目してみました。

『ヲタスツ海岸（荒谷七生）』内「寿都地方の方言考」の項目で「寿都地方の言葉や、方言、訛（ナマリ）は、だいたい津軽弁、仙台、南部弁、越前、庄内弁などの系統が多かった」（原文ママ）とあります。

そこで私たちは、寿都弁に仮説を立ててみました。いわゆる「寿都弁」は前述の地域から江戸時代に当地に移り住んだ方々、明治維新後、東本願寺の門徒さんや現在の230号線開削で北陸から東北経由で来られた方々が当地で色々な文化を根付かせる中から、少しずつ言葉の市民権を得て現在に至っているのではないかと。

ちょっときつめであったり、ほっこりであったりしますから、年配の方と標準語を超える言葉の魅力を語り合うのも面白いかと思います。

寿都弁 de ３コマ漫画！

なんて言ってたかわかったかな？正解は…

※1「どうやって手洗い･うがいをしたらいいの？」
※2「なに言ってんの!そんなこともわかんないなんて、しょうがないなあ」
※3「それなら、風太くんに教えてもらおう!」
※4「手洗いは指先をしっかり洗うこと!
※5「うがいは上を向いてゴロゴロガラガラ!」
※6「吐き出した後はきちんと蛇口を洗うこと!」
「感染症が広がらないように気を付けてね! 」
※7「みんな、しっかりきちんと手洗いうがいするんだよ～!」
※8「は～い、わかりました!!」
でした！

寿都の表具について

表具とは

表具とは、布や紙などを張ることによって仕立てられた巻物、掛軸、屏風、襖、衝立、額、画帖などと、それらを仕立てる作業を指します。寿都町に残る表具類は、素晴らしいものが多く残されており、町内には専門の表具師さんが居た時代がありました。これから、寿都に残る表具や表具師に関わることを調査していきます！

磯谷町島古丹に住んでいた表具師の外山さんの道具類や表装用の材料、町内に残る表具類などの写真。